

「豊かで生き生き、安心・安全なまち」を目指して

三好市食育推進計画

新たな指針でスタートします

2月号および3月号で健康増進計画概要版を掲載しましたが、今月号は食育推進計画の概要についてお知らせします。

お問い合わせ先 三好市役所健康づくり課 (☎72-6767)



【子どもの食育についてのアンケート】 *単位は%です。

幼児保護者		小中学生保護者		
食育への関心	%	食育への関心	小 %	中 %
①とても関心がある	21	①非常に関心がある	18	11
②関心がある	67	②どちらかといえば関心がある	67	68
③あまり関心がない	11	③あまり関心がない	14	19
④関心がない	0	④まったく関心がない	1	1
⑤分からない	1	⑤無回答	0	1
食育を主に行う場	%	学校における食育への期待	小 %	中 %
①家庭	90	①大いに期待している	29	23
②保育所・幼稚園	4	②期待している	62	68
③小学校	3	③あまり期待していない	6	6
④中学校・高等学校	0	④期待していない	2	1
⑤自治体	3	⑤無回答	1	2

③ **子どもの食育について**
市内の1歳6か月から3歳までの幼児保護者と小中学生の保護者を対象に、子どもの食育について、アンケート調査を実施したところ、幼児保護者の88%が「食育に関心がある」と答えています。また、食育を主に行う場所として、「家庭」と回答



した保護者は90%でした。同様に、小中学生保護者の82%が「食育に関心がある」と回答し、また、91%の保護者が、

④ 地域の食育活動について

学校における食育への期待について、「期待している」と回答しており、学校現場における食育教育への期待の高さがうかがえます。

地域の食に関する活動団体では、野菜の紙人形劇を子どもたちに披露したり、男性料理教室の開催、食育の日の普及活動など食生活に関する活動を行っている食育推進ボランティア(ヘルスメイト三好)や、地域農産物を利用した新たな特産品を開発したり、地域のイベントにおいて食事を提供するなどの活動を行っています。また、食文化の伝承に関して小中学生を対象に、三好地域の郷土料理について、アンケート調査を実施したところ、34%の児童生徒が知っていると答えました。知っている料理名は「そば米汁」が最多の15%でした。

食育推進のための5つの取り組み

- 食に関心を持つ地域の取り組みを増やします
- 食材料の地場産物使用の拡大を図ります
- 各教育機関における食育を推進します
- 「毎月19日は食育の日」を普及します
- 食育推進ボランティアの養成・会員数の増加に努めます

食育を推進するためには、市民の皆さん一人一人が食育に取り組むことが大切です。しかし、皆さんが取り組みやすいような環境づくりも必要であり、行政だけでなく、教育関係者や医療・保健関係者、農業従事者などの関係機関・団体と連携、協力しながら進めます。市民の皆さんのご協力をお願いいたします。

基本目標は？

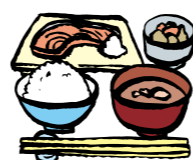
市民一人一人が食の大切さを認識できるようにするとともに、地域全体の連携と協力によって食育に取り組みることにより、健康で心豊かな市民が暮らす三好市をつくることを目標にしています。

三好市の現状はどうなの？

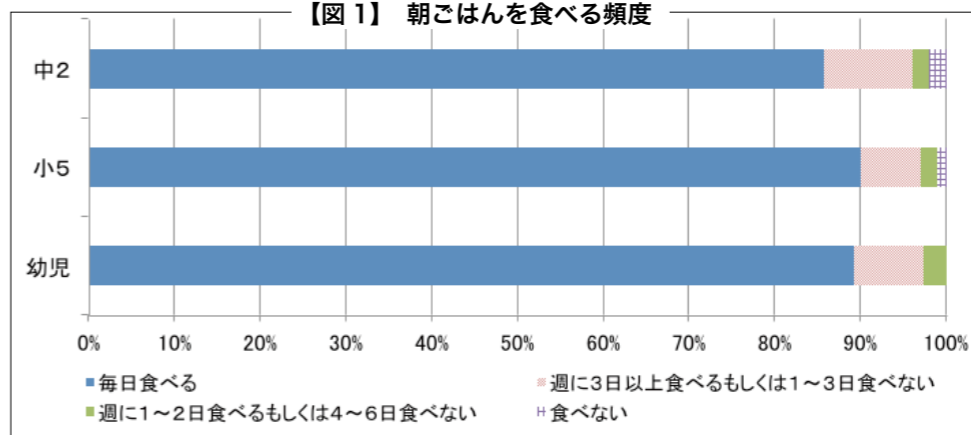
食生活習慣は、心身を育む上で欠かせないものです。

① 朝食について

図1は、幼児(1歳6か月~3歳)・小学校5年生・中学校2年生の朝ごはんを食べる頻度です。学年が上がるにつれて、「毎日食べる」割合が少なくなっています。一方、40歳以上の特定健康診査受診者(国保のみ)への問診票では、「朝食を抜くことが週に3回以上ある」と答えた割合は6%でした。



【図1】 朝ごはんを食べる頻度



② 肥満について

平成24年度学校保健統計(文部科学省)によれば、三好市の小中学生の肥満傾向児(肥満度20%以上)の割合は10・2%であり、全国(7・9%)、徳島県(9・8%)を上回っています。

なお、図2は、40歳以上の肥満傾向度を示しています。40歳から74歳の4人に1人が肥満傾向にあります。

【図2】 40歳以上の肥満傾向度

